

a 学校教育目標	学びあい、思いあい、高めあいのできる児童の育成「三愛」	b 経営理念 ミッション・ビジョン	【ミッション】(自校の使命)友達と学びあい、思いあい、高めあう児童の育成 【ビジョン】(自校の将来像)行きたい 行かせたい 行かせてよかった学校
----------	-----------------------------	----------------------	---

評価計画					自己評価				改善方策	学校関係者評価				
c 中期経営目標	d 短期経営目標	e 目標達成のための方策	f 評価項目・指標	g 目標値	9月	2月	i	j	k 結果と課題の分析	n 改善方策	l 評価			m コメント
					h 達成値	h 達成値	達成度	評価			イ	ロ	ハ	
確かな学力の向上	確かな学力を身に付けた児童の育成	◎主体的・対話的で深い学びの実現により確かな学力を育成する。  ○UDLの視点を取り入れた授業改善 ・学習者の視点で学びの障害を取り除く ・多様な選択肢と自己決定の場の提供 ・自分にあった学び方で学習し、自ら学ぶ「学びのエキスパート」の育成	○算数科を中心とした「見方・考え方」を働かせ、「問い」を解決する授業づくり ・つきたい力とゴールの明確化 ・追究したくなる問題提示、児童主体の課題設定 ・「分かる」「出来る」確かな学力の定着 ・数学的な見方、考え方を育てる問題解決学習 ・「問い」がにつながる単元構成(・繰り返し学習の徹底)  ○UDLの視点を取り入れた授業改善 ・学習者の視点で学びの障害を取り除く ・多様な選択肢と自己決定の場の提供 ・自分にあった学び方で学習し、自ら学ぶ「学びのエキスパート」の育成	①単元末テストの「知識・技能」において、85%以上の児童の割合  ②単元末テストの「思考・判断・表現」において、70%以上の児童の割合  ③「UDLの視点を取り入れた授業改善を意識することができた」と回答している教師の割合 「自ら進んで学習に取り組むことができる」と回答している児童の割合	①80%	②80%	③どちらも90%							
豊かな心の育成	潤いと落ち着いた着きのある児童の育成	◎目標達成のため、自ら挑戦し、仲間とともに粘り強くやりぬく力を育成する	①学級・学年・児童会としての意識を高める集団づくり ・学校行事・児童会行事を活用した目標・手立ての設定と振り返り ・がんばりを認める場の設定 ・縦割り班活動の活用  ②「気持ちの良い学校」づくり ・児童会活動とリンクさせた生活目標の設定 ・「あいさつ」と「掃除」による明るくきれいな学校づくり	①学校行事・児童会行事において、目標達成のために手立てを設定し、頑張りを認める場の設定(月1回以上)  ②「あいさつ」「掃除」の振り返りで肯定的評価をした児童・教師・保護者の割合	①90%	②90%								
健やかな体の育成	生涯にわたり心身ともに健康で安全な活力ある生活を送るための基礎的実践力の育成	◎自分の健康に関心を持ち、健康課題を自ら解決していこうとする態度を育成する	①基礎体力の向上・運動が好きな児童の育成 ・体力テストの実施による課題の分析と指導の改善 ・体育の授業の工夫 ・外遊びの推奨の奨励と朝マラソンの実施  ②計画的・意図的な食育指導・給食指導の実施	①運動やスポーツが好きな児童の割合  ②感謝して残さず食べようとする児童の割合	①95%	②90%								
信頼される学校	保護者・地域とともに歩む学校の推進	○不祥事防止の徹底  ○地域とともにある学校の創造  ○教職員が健康でやりがいをもって勤務できる環境づくり	①自己との関わりで意識向上を図る研修の実施  ②保護者、地域、関係機関との連携 ・コミュニティスクールの推進  ③積極的な働き方改革への意識の向上 ・定時退校日の実施(毎週水曜日)	①不祥事防止研修の実施(月1回以上)  ②地域の人材を活用した教育活動の実施(全学年、年1回以上)  ③時間外勤務45時間以下の月が6ヶ月以上の教職員の割合	①100%	②100%	③100%							

本年度の重点目標については◎印で示す。

【j:自己評価 評価】  
A:100≦(目標達成) B:80≦(ほぼ達成)<100  
C:60≦(もう少し)<80 D:(できていない)<60

【l:学校関係者評価 評価】  
イ:自己評価は適正である。ロ:自己評価は適正でない。  
ハ:分からない。